



# 未来ファンド おうみ

おたがいさまがつながる社会をめざす  
にゅーす

# News



Mirai Fund Ohmi News Letter Vol.8

2013.10 秋号



つながる活動

Photo



NPO法人  
マイママ・セラピー

NPO法人マイママ・セラピーは、お母さんのための保健室「マイママhouse」で「0歳児の赤ちゃん」を育児しているお母さんを対象に、育児にかかる不安や悩みの相談、学習・交流できる教室を開き活動している団体です。

活動を始めて14年目の今年は、未来ファンドおうみ「おうみNPO活動基金」の助成を受け、陣痛が始まったり、破水したりした産婦を安全に輸送する「ゆりかごタクシー」と、産後女性のための休息場所と時間確保を支援する「妊産婦レスパイトケア」に取り組んでいます。ゆりかごタクシーは、今年秋、大津市とその近隣地域よりモデル的に運行し順次県域拡大を目指しています。

## Data

- 連絡先：滋賀県大津市中央1丁目8-6  
TEL/FAX：077-511-9301  
E-mail：mymamahouse@mymama.jp  
URL：http://www.mymama.jp/

未来ファンドおうみへの寄付・助成事業についてのご相談は淡海ネットワークセンターへ



Ohmi Network Center  
淡海ネットワークセンター  
公益財団法人 淡海文化振興財団

### 公益財団法人 淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2階 TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442

http://www.ohmi-net.com E-mail:office@ohmi-net.com 開館時間/9:00~17:00 休館日/月曜日・祝日

### 住みよい里づくりをめざした活動

#### 鴨と蛭の里づくりグループ

鴨と蛭の里づくりグループは、米原市に生息する鴨や蛭をはじめ、貴重な動植物の保護育成及び地質鉱物等の自然環境を保全するための調査研究を行うとともに、自然保護思想の普及啓発を行い、住みよい里づくりを目的に活動をしている団体です。

活動は、年1回研究会誌「鴨と蛭とさぎ草のまち」の発行、毎年6月のみ「ほたる館」を開催し今年度は1,935名の方が来場されました。その他にも学校に向いて学習会の講師として米原市の自然環境の啓発に努めています。

また今年は、自然観察会(下記参照)を合計7回開催しています。子どもや大人も参加いただけますので、ぜひご家族でお越しください。

- ◆イベント情報：自然観察会 ※各定員30名
  - 5回：10月12日(土)どんぐり拾いとネイチャーゲーム
  - 6回：11月9日(土)秋の野山を歩いてみよう(清滝山周辺)
  - 7回：11月30日(土)木の実のクラフト作り
- ◆連絡先：鴨と蛭の里づくりグループ 代表 田中萬祐  
〒521-0243 滋賀県米原市長岡1243 TEL/FAX：0749-55-0708



### 地域の連携と活性化につなげていきたい

#### 南滋賀の里山を守る会

山林所有者が代々江戸時代から守り育ててきた山林を、将来において持続的に守り育てる仕組みを作るために平成23年に「持ち山を考える会」を発足しました。さらに地域一般の方にも防災と環境保全における山林保全の大切さを伝え、地域の連帯と活性化を目的に平成24年に「南滋賀の里山を考える会」として再発足しました。

この事業により、地域一般の方と山林所有者がともに間伐や木育活動を行うことにより、互いに森林のもつ大切さを認識し、地域の連帯と活性化につなげていきたいと考えています。



#### ◆イベント情報

- ◎林道整備：「奥の谷」11月10日(日)「小家の谷」11月24日(日)「中の谷」12月1日(日)
- ◎間伐イベント：11月3日(日)※「奥の谷」にて
- ◎間伐材を利用してのイベント：平成26年2月16日(日)
- ◆連絡先：南滋賀の里山を守る会 世話人代表 大伴太市郎  
〒520-0011 大津市南志賀2-16-22 TEL：077-524-3530  
E-mail：ootomo19500418@nike.eonet.ne.jp  
URL：http://sigasatoyama.web.fc2.com/



### ファンドレイジングの小箱

A Small Box of FUNDRAISING

寄付を集めるためのひと工夫、寄付者の共感を呼ぶ事業、想いをつなぐ取り組みをご紹介します。

### 当たり前「細く長く」続けたい、震災支援メニュー

#### 立命館生活協同組合



▲生協店舗入口に大きなポスターを置きPR

立命館生活協同組合は、立命館大学学生の生活を全面的にサポートしています。東日本大震災直後2011年4月から、東日本大震災支援企画として、衣笠キャンパス(内3店舗)とびわこ・くさつキャンパス(内2店舗)にある生協食堂で「募金付きメニュー」を続けています。常務理事の佐藤由紀さんにお話を伺いました。

「当大学は日本全国から学生が来ており東北出身の学生も多くいます。東日本大震災が起きた直後には、キャンパスに来れない被災地の新生入生の部屋を探すなどの間接的なサポートはしていましたが、生協として他に出来ることはないのかという意見が

職員から出てきたことから、生協活動の中で、学生が一番利用する場所で出来て、気軽に参加してもらえる企画として、組合員価格に募金分10円上乗せした『募金付きメニュー』を始めました。

この企画で、2011年度57,062食、2012年度25,424食、2年間で合計82,486食、824,860円寄付することができました。

初年度は、今自分達のできることを目標に、『細く長く』やり続けることを目標に、毎月1週間1メニューと決め計画的に続けています。10円上乗せについても、2年目からは組合員価格の中から10円寄付できるメニューを各食堂の店長が交代で考案しています。

今後の展開について佐藤さんは、「現在この震災支援企画は、生協食堂にとって『当たりの企画』となっています。そして、被災地支援を理解して食べることも大切ですが、食べることで自然と支援につながっているこの形を、今後も続けていきたいと思っています。」と語られました。

震災を忘れずに長く続けていくこと、支援することは特別ではなく当たり前と



▲6月支援募金メニュー「カレーマヨチキン」

なっているこの支援活動を、今後も長く続けられることを期待しています。

(淡海ネットワークセンタースタッフ 牧野利花)

#### アクセス

立命館生活協同組合  
住所：滋賀県草津市野路東1-1-1  
TEL：077-561-3918 FAX：077-561-2605  
URL：http://www.ritsco-op.jp/index.html